

15) 血液照射について

1-151. 血液製剤専用の放射線照射装置を設置していますか？

選択項目	件数	構成比
1 X線血液製剤照射装置を設置している	3	1.9%
2 γ線血液製剤照射装置を設置している	5	3.1%
3 いずれも設置していない	153	95.0%
合計	161	100.0%
未回答	17	

1-152. 過去1年間(平成28年1月～平成28年12月)に院内で照射が行なえず未照射のまま輸血が行なわれた日赤未照射製剤がありましたか？

選択項目	件数	構成比
1 はい	1	12.5%
2 いいえ	7	87.5%
合計	8	100%
未回答	170	

1-153. 過去1年間(平成28年1月～平成28年12月)に購入した日赤未照射製剤と院内で照射が行なえず未照射のまま輸血が行なわれた日赤未照射製剤の製剤別単位数を記入してください

購入した日赤未照射製剤の購入総量(赤血球製剤:単位)
(1) 年間日赤未照射製剤の購入総量(赤血球製剤:単位)

施設数	総単位数
1	4092

(2) 年間日赤未照射製剤の購入総量(血小板製剤:単位)
該当なし

(3) 年間日赤未照射製剤の院内未照射輸血量(赤血球製剤:単位)

施設数	総単位数
1	26

(4) 年間日赤未照射製剤の院内未照射輸血量(血小板製剤:単位)
該当なし

1-154. 日赤未照射製剤を院内で照射が行なえなかった理由は、複数回答

選択項目	件数	構成比
1 緊急の輸血で照射を行なう余裕がなかった	1	100.0%
2 時間外に院内照射を行なう体制がないため	0	0.0%
3 放射線照射装置の故障のため	0	0.0%
4 高K血症の予防のため	0	0.0%
5 その他	1	100.0%

16) 外来輸血について

1-155. 過去1年間(平成28年1月～平成28年12月)で、外来にて輸血をおこないましたが(但し、救急外来での輸血は除く)

選択項目	件数	構成比
1 はい	92	56.4%
2 いいえ	71	43.6%
合計	163	100%
未回答	15	

病床数	輸血件数				
	施設数	1～99	100～499	500～999	1000～
0	12	12	0	0	0
1～19	7	5	0	0	0
20～99	22	17	0	0	0
100～299	22	15	1	0	0
300～499	17	4	7	1	0
500～	12	0	1	2	4
未回答					5

1-156. 外来輸血の実施場所 複数回答

選択項目	件数	構成比
1 外来処置室	65	61.9%
2 外来の空いている診察室	9	8.6%
3 輸血部のベッド	0	0.0%
4 病棟の空きベッド	11	10.5%
5 その他	20	19.0%
合計	105	100%

1-157. 外来にて輸血する際のマニュアルは作成していますか

選択項目	件数	構成比
1 作成している	56	65.2%
2 作成する予定である	14	15.7%
3 作成する予定はない	17	19.1%
合計	89	100%
未回答	89	

1-158. 帰宅後に見られる輸血有言事象の説明を行っていますか

選択項目	件数	構成比
1 文書・口頭で実施している	37	41.6%
2 口頭で実施している	37	41.6%
3 文書を添すのみ	1	1.1%
4 実施していない	14	15.7%
合計	89	100%
未回答	89	

1-159. 帰宅後の連絡先について説明していますか

選択項目	件数	構成比
1 文書・口頭で実施している	36	40.4%
2 口頭で実施している	36	40.4%
3 文書を添すのみ	2	2.2%
4 実施していない	11	12.4%
合計	85	96%
未回答	93	

1-160. 輸血手帳を利用していますか

選択項目	件数	構成比
1 利用している	2	2.2%
2 利用していないが利用したい	17	19.1%
3 利用していない	69	77.5%
合計	88	99%
未回答	90	

1-161. 過去1年間(平成28年1月～平成28年12月)で、外来輸血時に院内で経験したことがある副作用 複数回答

副作用	0床	1～19床	20～99床	100～299床	300～499床	500床～	計
1 発熱	0	0	0	2	5	9	16
2 悪寒・戦慄	0	0	0	1	2	6	9
3 熱感・ほてり	0	0	0	1	2	2	5
4 掻痒感・かゆみ	0	0	1	2	3	9	15
5 発赤・顔面紅潮	0	0	0	2	1	4	7
6 発疹・尋麻疹	0	0	1	3	5	8	17
7 呼吸困難	0	0	0	0	0	5	5
8 嘔気・嘔吐	0	0	1	0	0	0	1
9 胸痛・腹痛・腰背節痛	0	0	0	0	0	0	0
10 頭痛・頭重感	0	0	0	0	1	0	1
11 血圧低下	0	0	0	0	1	0	1
12 血圧上昇	1	0	0	0	1	1	3
13 動悸・頻脈	0	0	0	2	0	1	3
14 血虚感	0	0	1	1	1	0	3
15 意識障害	0	0	0	0	0	0	1
16 赤褐色尿	0	0	0	0	0	0	0
17 その他	1	0	3	0	0	0	4

1-162. 過去1年間(平成28年1月～平成28年12月)で、外来輸血で輸血後に帰宅してから経験したことがある副作用 複数回答

副作用	0床	1～19床	20～99床	100～299床	300～499床	500床～	計
1 発熱	0	0	0	0	0	3	3
2 悪寒・戦慄	0	0	0	0	0	1	1
3 熱感・ほてり	0	0	0	1	0	0	1
4 掻痒感・かゆみ	0	0	0	1	1	3	5
5 発赤・顔面紅潮	0	0	0	1	0	0	1
6 発疹・尋麻疹	0	1	0	2	1	4	8
7 呼吸困難	0	0	0	0	0	0	0
8 嘔気・嘔吐	0	0	0	0	0	0	0
9 胸痛・腹痛・腰背節痛	0	0	0	0	0	0	0
10 頭痛・頭重感	0	0	0	0	0	0	0
11 血圧低下	0	0	0	0	0	1	1
12 血圧上昇	0	0	0	0	0	0	0
13 動悸・頻脈	0	0	0	0	0	0	0
14 血虚感	0	0	1	1	0	0	2
15 意識障害	0	0	0	0	0	0	0
16 赤褐色尿	0	0	0	0	0	0	0
17 その他	1	0	3	0	0	0	4

1-163. 過去1年間(平成28年1月～平成28年12月)で、外来輸血で帰宅後に発生した輸血副作用への対応について

選択項目	施設	構成比
1 連携医療機関で対応してもらった	0	0.0%
2 近隣救急センターを利用してもらった	0	0.0%
3 救急外来で対応した	5	11.9%
4 翌日に外来を受診してもらった	3	7.1%
5 往診した	0	0.0%
6 電話連絡のみで済ませた	5	11.9%
7 連絡はなかった	28	66.7%
8 連絡を受ける体制がない	1	2.4%
9 その他	0	0.0%
合計	42	100%

17) 病院外(介護施設・在宅)輸血について

1-164. 過去1年間(平成28年1月～平成28年12月)で、病院外(介護施設・在宅)輸血を行いましたか

選択項目	件数	構成比
いいえ	159	98%
関連病院と連携して介護施設・在宅面方で実施した	1	1%
関連病院と連携して在宅で実施した	0	0%
関連病院と連携なく介護施設・在宅面方で実施した	1	1%
関連病院と連携なく在宅で実施した	0	0%
関連病院と連携なく介護施設・在宅面方で実施した	0	0%
合計	162	100%
未回答	16	

1-165. 病院外で輸血を実施した患者さんに特別な理由がありますか、複数回答

選択項目	件数	構成比
病院まで距離が遠いため	3	38%
通院困難	2	25%
在宅治療を行っているため	2	25%
終末期医療のため	0	0%
病診連携で病院より依頼されたため	1	13%
患者さんからの希望	0	0%
その他	0	0%
合計	8	100%
未回答	0	

1-166. 問1-165で「(2)通院困難」の場合、通院困難な理由は

選択項目	件数	構成比
交通事情	0	0%
費たまり	2	67%
身体障害	1	33%
認知症	0	0%
その他	0	0%
合計	3	100%
未回答	0	

1-167. 問1-165で「(3)在宅治療を行っているため」の場合、患者さんの疾患は、複数回答

選択項目	件数	構成比
腎臓疾患(透析など)	1	25%
血液疾患(貧血など)	2	50%
血液悪性疾患(MDS、白血球、悪性リンパ腫、多発性骨髄腫など)	1	25%
悪性疾患	0	0%
消化器疾患	0	0%
産婦人科疾患	0	0%
その他	0	0%
合計	4	100%

1-168. インフォームド・コンセント(IC)について

選択項目	件数	構成比
病院内輸血と同じ説明・同意書で行っている	2	67%
病院内(介護施設・在宅)輸血用の説明・同意書を別に作成し使用している	1	33%
その他	0	0%
合計	3	100%
未回答	0	

1-169. 病院内(介護施設・在宅)輸血を行う場合に交差適合試験を実施していますか

選択項目	件数	構成比
自院で必ず行っている	1	33%
院外の検査センターで必ず行っている	2	67%
関連病院で必ず行っている	0	0%
自院、院外の検査センターもしくは関連病院で必ず行っている	0	0%
症例によって実施したりしなかったりする	0	0%
実施していない	0	0%
合計	3	100%

1-170. 輸血前後の感染症検査(HBV, HCV, HIV)は

選択項目	件数	構成比
院内と同様に実施している	2	67%
ほとんど実施していない	1	33%
その他	0	0%
合計	3	100%
未回答	0	

1-171. 輸血前後の検体保存は

選択項目	件数	構成比
院内と同様に実施している	0	0%
ほとんど実施していない	3	100%
その他	0	0%
合計	3	100%
未回答	0	

1-172. 病院内(介護施設・在宅)輸血を行う場合に実施困難な検査は 複数回答

選択項目	件数	構成比
血液型検査の二重チェック	0	0%
血液型検査のウラ試験	0	0%
不規則抗体スクリーニング検査	0	0%
抗免疫グロブリン法による交差適合試験	1	33%
輸血前感染症検査(肝炎ウイルスマーカー)	1	33%
輸血後感染症検査(肝炎ウイルスマーカー)	1	33%
合計	3	100%

1-173. 輸血の実施者は誰ですか 複数回答

選択項目	件数	構成比
輸血担当施設の医師	2	33%
輸血担当施設の看護師	2	33%
訪問看護ステーションの看護師	2	33%
連携病院の看護師	0	0%
その他	0	0%
合計	6	100%

1-174. 病院内(介護施設・在宅)輸血後の患者観察(5分後、15分後)は行っていますか

選択項目	件数	構成比
病院内輸血と同様にしている	3	100%
不十分ながら担当者が行っている	0	0%
ほとんど行っていない	0	0%
合計	3	100%
未回答	0	

1-175. 輸血中に付添う医療従事者は誰ですか 複数回答

選択項目	件数	構成比
輸血担当施設の医師	1	25%
輸血担当施設の看護師	2	50%
訪問看護ステーションの看護師	1	25%
連携病院の看護師	0	0%
その他	0	0%
合計	4	100%

1-176. 輸血終了時に抜針するのは誰ですか 複数回答

選択項目	件数	構成比
輸血担当施設の医師	1	25%
輸血担当施設の看護師	2	50%
訪問看護ステーションの看護師	1	25%
連携病院の看護師	0	0%
その他	0	0%
合計	4	100%

1-177. 輸血バッグの廃棄方法は

選択項目	件数	構成比
輸血担当施設で廃棄	2	67%
訪問看護ステーションで廃棄	0	0%
連携病院で廃棄	1	33%
その他	0	0%
合計	3	100%

18)大量出血時の輸血について
 1-182. 平成28年1月～平成28年12月の期間で大量出血のため1日につきRBC10単位以上輸血した症例はありますか

選択項目	件数	構成比
1 はい	34	21%
2 いいえ	129	79%
合計	163	100%
未回答	15	

1-183. 貴施設では大量出血・大量輸血時の凝固障害に対して何をを用いて対応していますか

選択項目	件数	構成比
1 新鮮凍結血漿のみ	27	82%
2 新鮮凍結血漿+クリオプリシピテート	0	0%
3 新鮮凍結血漿+フィブリノゲン濃縮剤	6	18%
4 新鮮凍結血漿+クリオプリシピテート、または新鮮凍結血漿+フィブリノゲン濃縮剤	0	0%
合計	33	100%
未回答	1	

1-184. 問1-183で「(2)～(4)」と答えた施設では、クリオプリシピテートおよびフィブリノゲン濃縮剤の投与基準を決めていますか

選択項目	件数	構成比
1 はい	2	33%
2 いいえ	4	67%
合計	6	100%
未回答	0	

1-185. 問1-184で「(1)はい」と答えた施設では何を投与基準としていますか

- (1)出血量 未回答
- (2)PT値 未回答

(3)フィブリノゲン値

病棟数	施設数		フィブリノゲン値 (mg/dL)			
	施設数	構成比	1～9	10～	未回答	合計
0	0	0	0	0	0	0
1～19	0	0	0	0	0	0
20～99	0	0	0	0	0	0
100～299	0	0	0	0	0	0
300～499	0	0	0	0	0	0
500～	2	100%	0	0	0	2
合計	2	100%	0	0	0	2

その他(原文ママ):
 使用する診療料は限られており、診療料ごとに投与基準が異なる

1-178. 病院内(介護施設・在宅)輸血を行う場合、自施設では実施困難な項目は 複数回答

選択項目	件数	構成比
輸血開始	0	0%
輸血中の観察	0	0%
輸血終了中の有害事象への対応	1	50%
輸血後の採計	0	0%
輸血終了後の輸血バッグの廃棄	0	0%
輸血終了後に患者を離れた後の有害事象への対応	1	50%
合計	2	100%

1-179. 病院内(介護施設・在宅)輸血を行う場合、訪問看護ステーションで実施困難な項目は 複数回答

選択項目	件数	構成比
輸血開始	0	0%
輸血中の観察	0	0%
輸血終了中の有害事象への対応	1	50%
輸血後の採計	0	0%
輸血終了後の輸血バッグの廃棄	0	0%
輸血終了後に患者を離れた後の有害事象への対応	1	50%
合計	2	100%

1-180. 過去1年間(平成28年1月～平成28年12月)に行った病院内(介護施設・在宅)輸血の延べ件数は

選択項目	施設数	総量
赤血球製剤	3	19
血小板製剤	0	0
血漿製剤	0	0
未回答	3	19

1-181. 病院内(介護施設・在宅)輸血後の副作用発症時の対応策は決めていますか

選択項目	件数	構成比
病院内輸血と同様にしている	1	33%
連絡をもらい適切な処理をとるようになっている	1	33%
関連病院と連絡をとり適切な処置を取るようになっている	1	33%
特に決めていない	0	0%
合計	3	100%

1-188. 問1-183で(2)~(4)と答えた施設でクリオプレシテートおよびフィブリノゲン濃縮製剤の一回の投与量は

(1)クリオプレシテート 該当なし

(2)フィブリノゲン濃縮製剤

病床数	施設数	総(台)数	使用袋(本)数				未回答
			0	1~9	10~99	100~	
0	0	0	0	0	0	0	0
1~19	0	0	0	0	0	0	0
20~99	0	0	0	0	0	0	0
100~299	0	0	0	0	0	0	0
300~499	1	1	0	1	0	0	0
500~	2	6	0	2	0	0	0
合計	3	7					

1-187. 問1-183で(2)~(4)と答えた施設でクリオプレシテートおよびフィブリノゲン濃縮製剤を使用する診療科と過去1年間(平成28年1月~平成28年12月)の件数は

- (1)心臓血管外科(小児科を含む) 該当なし
- (2)産科 該当なし
- (3)救命救急 該当なし
- (4)肝胆膵外科 該当なし
- (5)血液内科 該当なし
- (6)その他 該当なし

(7)心臓血管外科(小児科を含む)

病床数	施設数	総件数	フィブリノゲン濃縮製剤件数				未回答
			0	1~9	10~99	100~	
0	0	0	0	0	0	0	0
1~19	0	0	0	0	0	0	0
20~99	1	61	0	0	0	0	0
100~299	0	0	0	0	0	0	0
300~499	1	0	1	0	0	0	0
500~	4	10	0	3	0	0	1
合計	6	71					

(8)産科 該当なし

病床数	施設数	総件数	フィブリノゲン濃縮製剤件数				未回答
			0	1~9	10~99	100~	
0	0	0	0	0	0	0	0
1~19	0	0	0	0	0	0	0
20~99	1	0	0	0	0	0	0
100~299	0	0	0	0	0	0	0
300~499	1	0	1	0	0	0	0
500~	4	25	0	2	1	0	1
合計	6	25					

(9)救命救急

病床数	施設数	総件数	フィブリノゲン濃縮製剤件数				未回答
			0	1~9	10~99	100~	
0	0	0	0	0	0	0	0
1~19	0	0	0	0	0	0	0
20~99	1	0	0	0	0	0	0
100~299	0	0	0	0	0	0	0
300~499	1	0	0	0	0	0	0
500~	4	48	0	0	2	0	2
合計	6	48					

(10)肝胆膵外科

病床数	施設数	総件数	フィブリノゲン濃縮製剤件数				未回答
			0	1~9	10~99	100~	
0	0	0	0	0	0	0	0
1~19	0	0	0	0	0	0	0
20~99	1	0	0	0	0	0	0
100~299	0	0	0	0	0	0	0
300~499	1	0	0	0	0	0	0
500~	4	5	1	1	0	0	2
合計	6	5					

(11)血液内科 該当なし

(12)その他

病床数	施設数	総件数	フィブリノゲン濃縮製剤件数				未回答
			0	1~9	10~99	100~	
0	0	0	0	0	0	0	0
1~19	0	0	0	0	0	0	0
20~99	1	0	0	0	0	0	0
100~299	0	0	0	0	0	0	0
300~499	1	0	0	1	0	0	0
500~	4	6	1	1	0	0	2
合計	6	6					

1-188. 貴施設では大量出血・大量輸血時の凝固障害に使用可能なクリオプレシテートとフィブリノゲン濃縮製剤のどちらが良いとおもいますか

選択項目	件数	構成比
1 クリオプレシテート	0	0%
2 フィブリノゲン濃縮製剤	4	25%
3 どちらでも良い	12	75%
合計	16	100%
未回答	18	

1-183. 過去1年間(平成28年1～平成28年12月)で使用した、貯血式自己血の使用総袋(本)数を記入してください。

病床数	使用総袋(本)数			未回答
	0	1～9	10～99	
0	0	0	0	0
1～19	2	2	0	0
20～99	11	20	6	2
100～299	21	13	14	0
300～499	18	548	6	5
500～	12	96	2	3
合計	64	677		

(2)年間使用量 貯血式自己血(400mL)

病床数	使用総袋(本)数			未回答
	0	1～9	10～99	
0	0	0	0	0
1～19	2	38	0	2
20～99	11	211	0	4
100～299	21	635	1	9
300～499	18	1,901	0	2
500～	12	1,661	0	9
合計	64	4,446		

1-194. 過去1年間(平成28年1月～平成28年12月)で、使用せずに廃棄した貯血式自己血はありますか

選択項目	件数	構成比
1 ある	47	75%
2 ない	16	25%
合計	63	100%
未回答	1	

1-195. 過去1年間(平成28年1月～平成28年12月)で廃棄した、貯血式自己血の総袋(本)数を記入してください。

病床数	廃棄総袋(本)数			未回答
	0	1～9	10～99	
0	0	0	0	0
1～19	1	0	1	0
20～99	7	11	4	1
100～299	11	2	10	1
300～499	16	39	7	2
500～	11	23	2	8
合計	46	75		

(2)年間廃棄量 貯血式自己血(400mL)

病床数	廃棄総袋(本)数			未回答
	0	1～9	10～99	
0	0	0	0	0
1～19	1	11	0	1
20～99	7	61	0	5
100～299	12	147	0	7
300～499	16	253	2	7
500～	11	359	0	1
合計	47	831		

19) 自己血製剤使用の実績について

1-189. 過去1年間(平成28年1月～平成28年12月)で、自己血(貯血式・希釈式・回収式)を使用しましたか

選択項目	件数	構成比
1 はい	65	39%
2 いいえ	100	61%
合計	165	100%
未回答	13	

1-190. 過去1年間(平成28年1月～平成28年12月)で、貯血式自己血を使用しましたか

選択項目	件数	構成比
1 はい	64	39%
2 いいえ	1	1%
合計	65	39%
未回答	0	

1-191. 過去1年間(平成28年1月～平成28年12月)の貯血式自己血採血の症例数(実患者数)は

病床数	症例数(実患者数)			未回答
	0	1～9	10～99	
0	0	0	0	0
1～19	2	35	0	2
20～99	11	193	0	5
100～299	21	431	0	10
300～499	18	1,513	0	2
500～	12	1,321	0	1
合計	64	3,493		

1-192. (平成28年1月～平成28年12月)の貯血式自己血採血の総件数は

病床数	総件数			未回答
	0	1～9	10～99	
0	0	0	0	0
1～19	2	51	0	2
20～99	11	236	0	5
100～299	21	745	0	8
300～499	18	2,729	0	1
500～	12	2,008	0	3
合計	64	5,769		

1-198. 貯血式自己血漿剤を構築した要因は

選択項目	件数	構成比
1 有効期限切れ	24	37%
2 破損	3	5%
3 尿管管理不良	1	2%
4 使用しなかった	34	52%
5 その他	3	5%
合計	65	100%

その他(原文ママ)：

オベ中止
貯血したときに虫歯があったため
凝固しているように見られた為使用しなかった

1-197. 自己フィブリン糊を作製していますか

選択項目	件数	構成比
1 作成している	2	3%
2 いいえ(将来作成予定)	8	13%
3 いいえ(今後作成予定がない)	53	84%
合計	63	100%

未回答 1

1-198. 自己フィブリン糊を使用している診療科は 複数回答

選択項目	件数
1 整形外科	1
2 心臓血管外科	0
3 脳神経外科	0
4 産科・婦人科	0
5 消化器外科	0
6 歯科・口腔外科	0
7 呼吸器外科	0
8 泌尿器科	1
9 耳鼻科	0
10 その他	0

1-199. 過去1年間(平成28年1月～平成28年12月)貯血式自己血輸血の実績(実際に輸血されたもの)

(1) 全血:単位

病床数	施設数				単位	施設数	100～	100～	未回答
	0	1～9	10～99	100～					
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1～19	2	76	0	0	2	0	0	0	0
20～99	11	341	0	3	5	1	0	2	0
100～299	21	725	1	5	8	3	4	4	0
300～499	18	4,023	1	1	3	11	2	2	0
500～	12	3,243	0	0	1	9	2	2	0
合計	64	8,408							

(2) MAP:単位

病床数	施設数				単位	施設数	100～	100～	未回答
	0	1～9	10～99	100～					
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1～19	2	0	1	0	0	0	0	1	0
20～99	11	0	5	0	0	0	0	6	0
100～299	21	2,345	10	0	0	2	9	9	0
300～499	18	150	7	0	0	1	10	10	0
500～	12	65	7	0	1	0	4	4	0
合計	64	2,560							

(3) FFP:単位

病床数	施設数				単位	施設数	100～	100～	未回答
	0	1～9	10～99	100～					
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1～19	2	0	1	0	0	0	0	1	0
20～99	11	0	5	0	0	0	0	6	0
100～299	21	26	10	0	1	0	10	10	0
300～499	18	8	0	0	0	0	10	10	0
500～	12	65	7	0	1	0	4	4	0
合計	64	91							

(4) フィブリン糊:単位

病床数	施設数				単位	施設数	100～	100～	未回答
	0	1～9	10～99	100～					
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1～19	2	0	1	0	0	0	0	1	0
20～99	11	0	5	0	0	0	0	6	0
100～299	21	0	11	0	0	0	10	10	0
300～499	18	0	8	0	0	0	10	10	0
500～	12	0	8	0	0	0	4	4	0
合計	64	0							

(5) 血小板糊:単位

病床数	施設数				単位	施設数	100～	100～	未回答
	0	1～9	10～99	100～					
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1～19	2	0	1	0	0	0	0	1	0
20～99	11	0	5	0	0	0	0	6	0
100～299	21	1,670	10	0	0	1	10	10	0
300～499	18	0	8	0	0	0	10	10	0
500～	12	0	8	0	0	0	4	4	0
合計	64	1,670							

1-204. 貯血式自己血の保管管理されている場所はどこですか

選択項目	件数	構成比
1 輸血部門	15	23%
2 薬剤部	2	3%
3 検査室	42	66%
4 病棟	3	5%
5 外来	0	0%
6 日赤血液センター	0	0%
7 その他	2	3%
合計	64	100%
未回答	114	

1-205. 自己血輸血使用時に検査として何を実施していますか 複数回答

選択項目	件数	構成比
1 ABO型確認のみ	22	32%
2 交差適合試験	11	16%
3 ABO型確認と交差適合試験	26	38%
4 コンピュータークロスマッチ	3	4%
5 未検査	4	6%
6 その他	2	3%
合計	68	100%
未回答	1	

1-206. 自己血輸血に関するマニュアルはありますか

選択項目	件数	構成比
1 はい	61	97%
2 いいえ	2	3%
合計	63	100%
未回答	1	

1-207. 血管透過神経反結(VVR)に関するマニュアルはありますか

選択項目	件数	構成比
1 はい	45	70%
2 いいえ	19	30%
合計	64	100%
未回答	1	

1-208. 輸血部門として自己血関連業務で関わっているものはありますか 複数回答

選択項目	件数	構成比
1 自己血採取場所の確保	14	5%
2 自己血採取補助	32	12%
3 自己血採取の物品管理	39	15%
4 自己血の保管管理	58	22%
5 自己血の外観検査	42	16%
6 自己血の容量確認	39	15%
7 自己血輸血の副作用の管理	34	13%
8 関わっていない	1	0%
合計	259	100%
未回答	3	

1-200. 静脈穿刺しているのは誰ですか

選択項目	件数	構成比
1 医師(医師は専科医師を含む)	38	60%
2 看護師	10	16%
3 医師及び看護師	15	24%
4 臨床検査技師	0	0%
5 その他	0	0%
合計	63	100%
未回答	1	

1-201. 問1-200で(1)又は(3)の場合、静脈穿刺している医師は

選択項目	件数	構成比
1 輸血部門の医師	1	2%
2 担当医	47	90%
3 輸血部門の医師および担当医	2	4%
4 その他	2	4%
合計	52	100%
未回答	1	

1-202. 問1-200で(2)又は(3)の場合、静脈穿刺している看護師は 複数回答

選択項目	件数	構成比
1 自己血採血専任の看護師	5	18%
2 非常勤の看護師	2	7%
3 その他の看護業務と兼任の看護師	21	75%
4 看護師はいない	0	0%
合計	28	100%
未回答	0	

1-203. 学会認定・自己血輸血看護師制度について 複数回答

選択項目	件数	構成比
1 現在申請中	0	0%
2 将来取得したいと思っている	12	19%
3 知ってるが制度の詳細がよくわからない	3	5%
4 今後の状況を見て判断する	34	55%
5 関心がない	1	2%
6 知らなかったので調べてみる	0	0%
7 学会認定・自己血輸血看護師がいる	12	19%
合計	62	100%
未回答	5	

1-211. 過去1年間(平成28年1月～平成28年12月)で使用した、希釈式自己血の使用総数を記入してください

(1) 希釈式自己血(200mL)使用総数

症例数	総数				未回答
	0	1～9	10～19	20～49	
病床数	0	0	0	0	0
	1～19	0	0	0	0
	20～99	0	0	0	0
	100～299	1	0	0	0
	300～499	2	4	0	0
	500～	2	0	1	0
合計	5	14	0	0	1

(2) 希釈式自己血(400mL)使用総数

症例数	総数				未回答
	0	1～9	10～19	20～49	
病床数	0	0	0	0	0
	1～19	0	0	0	0
	20～99	0	0	0	0
	100～299	1	55	0	0
	300～499	2	9	0	0
	500～	2	22	0	0
合計	5	86	0	1	1

1-212. 希釈式自己血輸血が、平成28年4月に診療報酬が認められましたかご存じですか

選択項目	件数	構成比
1 ある	4	80%
2 ない	1	20%
合計	5	100%
未回答	0	

1-213. 過去1年間(平成28年1月～平成28年12月)で、回収式自己血を使用しましたか

選択項目	件数	構成比
1 ある	14	24%
2 ない	44	76%
合計	58	100%
未回答	7	

1-214. 過去1年間(平成28年1月～平成28年12月)で使用した、回収式自己血の使用総数を記入してください

症例数	総数				未回答
	0	1～99	100～999	1000～9999	
病床数	0	0	0	0	0
	1～19	1	480	0	0
	20～99	0	0	0	0
	100～299	2	17737	0	0
	300～499	5	11268	0	0
	500～	6	128270	0	0
合計	14	417355	0	0	0

1-209. 過去1年間(平成28年1月～平成28年12月)に血管迷走神経反射(VVR)を経験しましたか

(1) 年間血管迷走神経反射(VVR)Ⅰ度の発生件数

発生総数	Ⅰ度の発生件数/年				未回答
	0	1～4	5～9	10～	
病床数	0	0	0	0	0
	1～19	2	1	1	0
	20～99	11	3	5	0
	100～299	21	1	13	0
	300～499	18	4	7	3
	500～	12	25	4	3
合計	64	34			

(2) 年間血管迷走神経反射(VVR)Ⅱ度の発生件数

発生総数	Ⅱ度の発生件数/年				未回答
	0	1～4	5～9	10～	
病床数	0	0	0	0	0
	1～19	2	0	0	0
	20～99	11	0	6	0
	100～299	21	0	14	0
	300～499	18	0	9	0
	500～	12	0	9	0
合計	64	0			

1-210. 過去1年間(平成28年1月～平成28年12月)で、希釈式自己血を使用しましたか

(3) 年間血管迷走神経反射(VVR)Ⅲ度の発生件数

発生総数	Ⅲ度の発生件数/年				未回答
	0	1～4	5～9	10～	
病床数	0	0	0	0	0
	1～19	2	0	2	0
	20～99	11	0	6	0
	100～299	21	0	14	0
	300～499	18	0	9	0
	500～	12	0	9	0
合計	64	0			

1-210. 過去1年間(平成28年1月～平成28年12月)で、希釈式自己血を使用しましたか

選択項目	件数	構成比
1 ある	5	8%
2 ない	56	92%
合計	61	100%
未回答	4	

(2) 等張アルブミン製剤5%(250mL)使用本数

施設数	使用本数			
	0	1~99	100~999	1000~9999
0	0	0	0	0
1~19	1	8	0	0
20~99	1	13	0	0
100~299	6	147	0	0
300~499	4	1,092	39	1,063
500床以上	4	6,157	0	1,461
0	0	0	0	4,696
0	0	0	0	0
1~19	0	0	0	0
20~99	3	570	16	554
100~299	2	1,925	5	1,920
300~499	3	1,397	0	379
500床以上	1	1,246	0	1,246
0	0	0	0	0
0	0	0	0	0
1~19	0	0	0	0
20~99	1	2	2	0
100~299	1	4	4	0
300~499	2	240	60	180
500床以上	3	2,262	0	860
0	0	0	0	1,402
1~19	0	0	0	0
20~99	0	0	0	0
100~299	0	0	0	0
300~499	0	0	0	0
500床以上	0	0	0	0

(3) 高張アルブミン製剤20%(20mL)使用本数

施設数	使用本数			
	0	1~99	100~999	1000~9999
0	0	0	0	0
1~19	3	175	0	175
20~99	7	243	0	243
100~299	11	1,364	0	1,181
300~499	9	7,305	17	2,284
500床以上	4	6,919	0	484
0	0	0	0	6,435
0	0	0	0	0
1~19	0	0	0	0
20~99	1	61	61	0
100~299	0	0	0	0
300~499	0	0	0	0
500床以上	0	0	0	0
0	0	0	0	0
1~19	0	0	0	0
20~99	0	0	0	0
100~299	0	0	0	0
300~499	1	681	0	681
500床以上	2	2,751	35	2,716
0	0	0	0	0
0	0	0	0	0
1~19	0	0	0	0
20~99	0	0	0	0
100~299	1	5	5	0
300~499	1	5	0	0
500床以上	0	0	0	0

(4) 高張アルブミン製剤20%(50mL)使用本数

施設数	使用本数			
	0	1~99	100~999	1000~9999
0	0	0	0	0
1~19	3	175	0	175
20~99	7	243	0	243
100~299	11	1,364	0	1,181
300~499	9	7,305	17	2,284
500床以上	4	6,919	0	484
0	0	0	0	6,435
0	0	0	0	0
1~19	0	0	0	0
20~99	1	61	61	0
100~299	0	0	0	0
300~499	0	0	0	0
500床以上	0	0	0	0
0	0	0	0	0
1~19	0	0	0	0
20~99	0	0	0	0
100~299	0	0	0	0
300~499	1	681	0	681
500床以上	2	2,751	35	2,716
0	0	0	0	0
0	0	0	0	0
1~19	0	0	0	0
20~99	0	0	0	0
100~299	1	5	5	0
300~499	1	5	0	0
500床以上	0	0	0	0

20) 血漿分画製剤の使用実績について

1-215. 過去1年間(平成28年1月~平成28年12月)で、血漿分画製剤を使用しましたか

選択項目	件数	構成比
1 はい	120	75%
2 いいえ	41	25%
合計	161	100%
未回答	17	

1-216. 過去1年間(平成28年1月~平成28年12月)で、アルブミン製剤(等張アルブミン製剤:5%、高張アルブミン製剤:20%、高張アルブミン製剤:25%)を使用しましたか

選択項目	件数	構成比
1 はい	105	91%
2 いいえ	11	9%
合計	116	100%
未回答	62	

1-217. 問1-216で(1)、はいの場合、過去1年間(平成28年1月~平成28年12月)でアルブミン製剤(等張アルブミン製剤:5%、高張アルブミン製剤:20%、高張アルブミン製剤:25%)の使用本数を、国産・輸入別、濃度別に本数で記入してください。

(1) 等張アルブミン製剤5%(100mL)使用本数

施設数	使用本数			
	0	1~99	100~999	1000~9999
0	0	0	0	0
1~19	0	0	0	0
20~99	0	0	0	0
100~299	0	0	0	0
300~499	0	0	0	0
500床以上	0	0	0	0
0	0	0	0	0
1~19	0	0	0	0
20~99	0	0	0	0
100~299	0	0	0	0
300~499	2	302	302	0
500床以上	1	318	318	0
0	0	0	0	0
1~19	0	0	0	0
20~99	0	0	0	0
100~299	0	0	0	0
300~499	0	0	0	0
500床以上	0	0	0	0
0	0	0	0	0
1~19	1	0	0	0
20~99	0	0	0	0
100~299	0	0	0	0
300~499	0	0	0	0
500床以上	0	0	0	0

1-218. アルブミン製剤(等張アルブミン製剤:5%、高張アルブミン製剤:20%、高張アルブミン製剤:25%)の使用理由は、概ね回答

	等張製剤	高張製剤
1 出血傾向の改善	20	20
2 重症敗血症の改善	4	20
3 肝臓薬に伴う腹水の改善	7	43
4 肝臓薬に伴う腹水の改善	5	27
5 循環動態が不安定な体外循環の改善	13	19
6 凝固因子の補充を必要としない治療的血液交換療法	3	4
7 重症脳傷	1	2
8 低蛋白血症に起因する肺水腫あるいは著明な浮腫の改善	9	50
9 循環血容量の著明な減少の改善	17	13
10 脳虚血の改善	3	0
11 人工心臓を使用する心臓手術	3	4
12 高血圧の循環動態の安定した低アルブミン血症の改善	9	12
13 妊婦高血圧症候群の改善	0	1
14 炎症性腸疾患の改善	0	1
15 蛋白資源としての栄養補給	0	10
16 末期患者	1	9
17 他の血症病量が適応とならない病態の改善	2	3
18 その他	1	2
	104	246

※ その他の場合 理由: 医師判断による

1-219. 過去1年間(平成28年1月～平成28年12月)で、アルブミン製剤(等張アルブミン製剤:5%、高張アルブミン製剤:20%、高張アルブミン製剤:25%)を調製しましたか

選択項目	件数	補正比
はい	20	20%
いいえ	82	80%
合計	102	100%
未回答	76	

1-220. 問1-219で(1)、はいの場合、過去1年間(平成28年1月～平成28年12月)で、アルブミン製剤(等張アルブミン製剤:5%、高張アルブミン製剤:20%、高張アルブミン製剤:25%)の調製本数を国産・輸入別・規格別で記入してください

(1)等張アルブミン製剤5%(100mL)調製本数
なし

(2)等張アルブミン製剤5%(250mL)調製本数

国産 (単血蛋白 本)	総本数			
	0	1～19	100～499	1000～
0	0	0	0	0
1～19	0	0	0	0
20～99	1	6	0	0
100～299	0	0	0	0
300～499	2	3	0	0
500床以上	4	377	0	0
0	0	0	0	0
1～19	0	0	0	0
20～99	0	8	0	0
100～299	2	4	0	0
300～499	1	1	0	0
500床以上	1	2	0	0
0	0	0	0	0
1～19	0	0	0	0
20～99	0	0	0	0
100～299	0	0	0	0
300～499	0	0	0	0
500床以上	0	0	0	0
0	0	0	0	0
1～19	0	0	0	0
20～99	0	0	0	0
100～299	0	0	0	0
300～499	0	0	0	0
500床以上	0	0	0	0
0	0	0	0	0
1～19	0	0	0	0
20～99	0	0	0	0
100～299	0	0	0	0
300～499	0	0	0	0
500床以上	0	0	0	0

(5)高張アルブミン製剤25%(20mL)使用本数

施設数	使用本数			
	0	1～99	100～999	1000～
0	0	0	0	0
1～19	0	0	0	0
20～99	2	4	217	0
100～299	2	698	0	0
300～499	1	96	0	0
500床以上	0	0	0	0
0	0	0	0	0
1～19	0	0	0	0
20～99	0	0	0	0
100～299	0	0	0	0
300～499	0	0	0	0
500床以上	0	0	0	0
0	0	0	0	0
1～19	0	0	0	0
20～99	0	0	0	0
100～299	1	661	0	0
300～499	0	0	0	0
500床以上	0	0	0	0
0	0	0	0	0
1～19	0	0	0	0
20～99	0	0	0	0
100～299	0	0	0	0
300～499	0	0	0	0
500床以上	0	0	0	0

(6)高張アルブミン製剤25%(50mL)使用本数

施設数	使用本数			
	0	1～99	100～999	1000～
0	1	13	0	0
1～19	3	13	246	0
20～99	17	310	623	0
100～299	13	3,089	3,033	0
300～499	5	2,897	1,803	1,094
500床以上	4	4,727	16	886
0	1	54	0	0
1～19	0	0	0	0
20～99	3	237	0	0
100～299	1	198	0	198
300～499	2	1,335	0	1,335
500床以上	0	0	0	0
0	0	0	0	0
1～19	1	74	0	0
20～99	4	414	33	381
100～299	1	144	0	144
300～499	3	1,870	65	542
500床以上	1	883	0	883
0	0	0	0	0
1～19	0	0	0	0
20～99	0	0	0	0
100～299	0	0	0	0
300～499	0	0	0	0
500床以上	0	0	0	0

1-222. 過去1年間(平成28年1月～平成28年12月)で、加熱人血漿蛋白製剤(等張アルブミン製剤4.4%)を使用したか

選択項目	件数	構成比
1 はい	18	16%
2 いいえ	96	84%
合計	114	100%
未回答	64	

1-223. 過去1年間(平成28年1月～平成28年12月)で、加熱人血漿蛋白製剤(等張アルブミン製剤(4.4%))の使用本数を規格別に記入してください

病床数	加熱人血漿4.4%100ml		加熱人血漿4.4%250ml	
	本数	割合	本数	割合
500～	0	0	2	513
300～499	1	52	2	807
100～299	1	3	6	82
20～99	0	0	6	544
0～19	0	0	0	0
合計	2	55	16	1946

1-224. 過去1年間(平成28年1月～平成28年12月)で、加熱人血漿蛋白製剤(等張アルブミン製剤(4.4%))を廃棄したか

選択項目	件数	構成比
1 はい	3	17%
2 いいえ	15	83%
合計	18	100%
未回答	160	

1-225. 過去1年間(平成28年1月～平成28年12月)で、加熱人血漿蛋白製剤(等張アルブミン製剤(4.4%))の廃棄本数を規格別に記入してください

病床数	加熱人血漿4.4%100ml		加熱人血漿4.4%250ml	
	本数	割合	本数	割合
500～	0	0	0	0
300～499	0	0	0	0
100～299	0	0	2	5
20～99	0	0	1	1
0～19	0	0	0	0
合計	0	0	3	6

1-226. 加熱人血漿蛋白製剤(等張アルブミン製剤(4.4%))を廃棄した要因は 複数回答

選択項目	件数	構成比
1 有効期限切れ	1	50%
2 破損	1	50%
3 保管管理不良	0	0%
4 その他	0	0%
合計	2	100%

※ その他:記載なし

1-227. 過去1年間(平成28年1月～平成28年12月)で、免疫グロブリン製剤を使用したか

選択項目	件数	構成比
1 はい	74	65%
2 いいえ	39	35%
合計	113	100%
未回答	65	

(3) 高張アルブミン製剤(20%(20mL)廃棄本数なし)

(4) 高張アルブミン製剤(50%(50mL)廃棄本数なし)

国産(単成分)製剤 本数	他産数	総本数	廃棄本数			
			1～99	100～999	1000～	不明
0	0	0	0	0	0	0
1～19	0	0	0	0	0	0
20～99	0	0	0	0	0	0
100～299	0	0	0	0	0	0
300～499	2	12	0	12	0	0
500床以上	3	1,573	0	3	0	1,570
1～19	0	0	0	0	0	0
20～99	0	8	0	8	0	0
100～299	0	0	0	0	0	0
300～499	0	0	0	0	0	0
500床以上	0	0	0	0	0	0
輸入(単成分)製剤 本数	0	0	0	0	0	0
1～19	0	0	0	0	0	0
20～99	0	0	0	0	0	0
100～299	0	0	0	0	0	0
300～499	1	0	0	1	0	0
500床以上	0	0	0	0	0	0
不明	0	0	0	0	0	0
国産・輸入 の計	0	0	0	0	0	0
1～19	0	0	0	0	0	0
20～99	0	0	0	0	0	0
100～299	0	0	0	0	0	0
300～499	0	0	0	0	0	0
500床以上	0	0	0	0	0	0

(5) 高張アルブミン製剤(5%(20mL)廃棄本数なし)

(6) 高張アルブミン製剤(50%(50mL)廃棄本数なし)

国産(単成分)製剤 本数	他産数	総本数	廃棄本数			
			1～99	100～999	1000～	不明
0	0	0	0	0	0	0
1～19	0	0	0	0	0	0
20～99	2	5	0	5	0	0
100～299	0	0	0	0	0	0
300～499	2	4	0	4	0	0
500床以上	1	3	0	3	0	0
0	0	0	0	0	0	0
1～19	0	8	0	8	0	0
20～99	1	1	0	1	0	0
100～299	0	0	0	0	0	0
300～499	0	0	0	0	0	0
500床以上	0	0	0	0	0	0
不明	0	0	0	0	0	0
国産・輸入 の計	0	0	0	0	0	0
1～19	0	0	0	0	0	0
20～99	0	0	0	0	0	0
100～299	1	1	0	1	0	0
300～499	1	1	0	1	0	0
500床以上	0	0	0	0	0	0
不明	0	0	0	0	0	0
国産・輸入 の計	0	0	0	0	0	0
1～19	0	0	0	0	0	0
20～99	0	0	0	0	0	0
100～299	0	0	0	0	0	0
300～499	0	0	0	0	0	0
500床以上	0	0	0	0	0	0

1-221. アルブミン製剤(等張アルブミン製剤:5%、高張アルブミン製剤:20%、高張アルブミン製剤:25%)を廃棄した要因は《複数回答可》

選択項目	件数	構成比
1 有効期限切れ	7	30%
2 破損	11	48%
3 保管管理不良	1	4%
4 その他	4	17%
合計	23	100%

※ その他の場合 理由: 用量調節のため
調製後指定数量のため
使用目的にて針を引いたが中止となった為廃棄した
ライン接続後に患者が敗血症を拒否したため

1-228. 問1-227で(1)、(1)~(1)の場合、過去1年間(平成26年1月~平成28年12月)で免疫グロブリン製剤の使用本数を、国産・輸入別、規格別に記入してください。

		施設数		総本数					
				0	1~99	100~999	1000~9999	10000~	
国産 (採血日 本)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	1~19	0	0	0	0	0	0	0	0
	20~99	2	520	73	447	0	0	0	0
	100~299	3	166	0	42	124	0	0	0
	300~499	0	0	0	0	0	0	0	0
	500~	2	466	0	0	466	0	0	0
輸入 (採血日・海 外・非採血)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	1~19	0	0	0	0	0	0	0	0
	20~99	0	0	0	0	0	0	0	0
	100~299	0	0	0	0	0	0	0	0
	300~499	0	0	0	0	0	0	0	0
	500~	0	0	0	0	0	0	0	0
輸入 (採血日・海 外・非採血)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	1~19	0	0	0	0	0	0	0	0
	20~99	0	0	0	0	0	0	0	0
	100~299	0	0	0	0	0	0	0	0
	300~499	0	0	0	0	0	0	0	0
	500~	0	0	0	0	0	0	0	0
国産・輸入 の計 不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	1~19	0	0	0	0	0	0	0	0
	20~99	0	0	0	0	0	0	0	0
	100~299	0	0	0	0	0	0	0	0
	300~499	0	0	0	0	0	0	0	0
	500~	0	0	0	0	0	0	0	0

(1) 免疫グロブリン製剤5% (10mL)

		施設数		総本数					
				0	1~99	100~999	1000~9999	10000~	
国産 (採血日 本)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	1~19	6	0	0	119	0	0	0	0
	20~99	17	2,445	0	453	847	1,145	0	0
	100~299	17	4,175	0	544	641	2,890	0	0
	300~499	9	990	0	232	748	0	0	0
	500~	3	1,013	0	14	989	0	0	0
輸入 (採血日・海 外・非採血)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	1~19	0	0	0	0	0	0	0	0
	20~99	3	317	0	15	302	0	0	0
	100~299	2	1,408	0	251	1,157	0	0	0
	300~499	0	0	0	0	0	0	0	0
	500~	0	0	0	0	0	0	0	0
輸入 (採血日・海 外・非採血)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	1~19	0	0	0	0	0	0	0	0
	20~99	2	209	0	1	208	0	0	0
	100~299	1	23	0	23	0	0	0	0
	300~499	0	0	0	0	0	0	0	0
	500~	0	0	0	0	0	0	0	0
国産・輸入 の計 不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	1~19	0	0	0	0	0	0	0	0
	20~99	0	0	0	0	0	0	0	0
	100~299	1	39	0	39	0	0	0	0
	300~499	0	0	0	0	0	0	0	0
	500~	0	0	0	0	0	0	0	0

(2) 免疫グロブリン製剤5% (20mL) 使用本数

		施設数		総本数					
				0	1~99	100~999	1000~9999	10000~	
国産 (採血日 本)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	1~19	0	0	0	0	0	0	0	0
	20~99	1	2	0	2	0	0	0	0
	100~299	2	447	0	6	441	0	0	0
	300~499	0	0	0	0	0	0	0	0
	500~	1	694	0	0	694	0	0	0
輸入 (採血日・海 外・非採血)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	1~19	0	0	0	0	0	0	0	0
	20~99	0	0	0	0	0	0	0	0
	100~299	0	0	0	0	0	0	0	0
	300~499	0	0	0	0	0	0	0	0
	500~	0	0	0	0	0	0	0	0
輸入 (採血日・海 外・非採血)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	1~19	0	0	0	0	0	0	0	0
	20~99	0	0	0	0	0	0	0	0
	100~299	0	0	0	0	0	0	0	0
	300~499	0	0	0	0	0	0	0	0
	500~	0	0	0	0	0	0	0	0
国産・輸入 の計 不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	1~19	0	0	0	0	0	0	0	0
	20~99	0	0	0	0	0	0	0	0
	100~299	0	0	0	0	0	0	0	0
	300~499	0	0	0	0	0	0	0	0
	500~	0	0	0	0	0	0	0	0

(3) 免疫グロブリン製剤5% (50mL)

		施設数		総本数					
				0	1~99	100~999	1000~9999	10000~	
国産 (採血日 本)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	1~19	1	0	0	0	0	0	0	0
	20~99	10	3,473	0	166	818	2,489	0	0
	100~299	10	3,715	0	180	3835	0	0	0
	300~499	6	3,983	0	90	730	3,173	0	0
	500~	2	4,181	0	0	0	4,181	0	0
輸入 (採血日・海 外・非採血)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	1~19	0	0	0	0	0	0	0	0
	20~99	0	0	0	0	0	0	0	0
	100~299	0	0	0	0	0	0	0	0
	300~499	0	0	0	0	0	0	0	0
	500~	0	0	0	0	0	0	0	0
輸入 (採血日・海 外・非採血)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	1~19	0	0	0	0	0	0	0	0
	20~99	0	0	0	0	0	0	0	0
	100~299	0	0	0	0	0	0	0	0
	300~499	0	0	0	0	0	0	0	0
	500~	0	0	0	0	0	0	0	0
国産・輸入 の計 不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	1~19	0	0	0	0	0	0	0	0
	20~99	0	0	0	0	0	0	0	0
	100~299	0	0	0	0	0	0	0	0
	300~499	0	0	0	0	0	0	0	0
	500~	0	0	0	0	0	0	0	0

(4) 免疫グロブリン製剤5% (100mL)

		施設数		総本数					
				0	1~99	100~999	1000~9999	10000~	
国産 (採血日 本)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	1~19	0	0	0	0	0	0	0	0
	20~99	1	2	0	2	0	0	0	0
	100~299	2	447	0	6	441	0	0	0
	300~499	0	0	0	0	0	0	0	0
	500~	1	694	0	0	694	0	0	0
輸入 (採血日・海 外・非採血)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	1~19	0	0	0	0	0	0	0	0
	20~99	0	0	0	0	0	0	0	0
	100~299	0	0	0	0	0	0	0	0
	300~499	0	0	0	0	0	0	0	0
	500~	0	0	0	0	0	0	0	0
輸入 (採血日・海 外・非採血)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	1~19	0	0	0	0	0	0	0	0
	20~99	0	0	0	0	0	0	0	0
	100~299	0	0	0	0	0	0	0	0
	300~499	0	0	0	0	0	0	0	0
	500~	0	0	0	0	0	0	0	0
国産・輸入 の計 不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	1~19	0	0	0	0	0	0	0	0
	20~99	0	0	0	0	0	0	0	0
	100~299	0	0	0	0	0	0	0	0
	300~499	0	0	0	0	0	0	0	0
	500~	0	0	0	0	0	0	0	0

(5) 免疫グロブリン製剤5% (200mL)

1-231. 問1-230で「(1)はいの場合、過去1年間(平成28年1月～平成28年12月)で免疫グロブリン製剤の廃棄本数を、国産・輸入別、規格別に記入してください。」

(1)免疫グロブリン製剤5%(10mL)廃棄本数
なし

(2)免疫グロブリン製剤5%(20mL)廃棄本数
なし

(3)免疫グロブリン製剤5%(50mL)

施設数	総本数				
	0	1～5	6～10	11～	
0	0	0	0	0	0
1～19	0	0	0	0	0
20～99	1	3	0	3	0
100～299	3	5	0	5	0
300～499	1	6	0	6	0
500～	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0
1～19	0	0	0	0	0
20～99	0	0	0	0	0
100～299	0	0	0	0	0
300～499	0	0	0	0	0
500～	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0
1～19	0	0	0	0	0
20～99	0	0	0	0	0
100～299	1	1	0	1	0
300～499	0	0	0	0	0
500～	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0
1～19	0	0	0	0	0
20～99	0	0	0	0	0
100～299	0	0	0	0	0
300～499	0	0	0	0	0
500～	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0
1～19	0	0	0	0	0
20～99	0	0	0	0	0
100～299	0	0	0	0	0
300～499	0	0	0	0	0
500～	0	0	0	0	0

(4)免疫グロブリン製剤5%(100mL)

施設数	総本数				
	0	1～5	6～10	11～	
0	0	0	0	0	0
1～19	0	0	0	0	0
20～99	0	0	0	0	0
100～299	2	2	0	2	0
300～499	1	3	0	3	0
500～	1	2	0	2	0
0	0	0	0	0	0
1～19	0	0	0	0	0
20～99	0	0	0	0	0
100～299	0	0	0	0	0
300～499	0	0	0	0	0
500～	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0
1～19	0	0	0	0	0
20～99	0	0	0	0	0
100～299	0	0	0	0	0
300～499	0	0	0	0	0
500～	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0
1～19	0	0	0	0	0
20～99	0	0	0	0	0
100～299	0	0	0	0	0
300～499	0	0	0	0	0
500～	0	0	0	0	0

(6)免疫グロブリン製剤1.0%(50mL)

施設数	使用本数				
	0	1～99	100～999	1000～9999	10000～
0	0	0	0	0	0
1～19	0	0	0	0	0
20～99	1	605	0	605	0
100～299	3	467	134	333	0
300～499	0	0	0	0	0
500～	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0
1～19	0	0	0	0	0
20～99	0	0	0	0	0
100～299	0	0	0	0	0
300～499	0	0	0	0	0
500～	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0
1～19	0	0	0	0	0
20～99	0	0	0	0	0
100～299	0	0	0	0	0
300～499	0	0	0	0	0
500～	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0
1～19	0	0	0	0	0
20～99	0	0	0	0	0
100～299	0	0	0	0	0
300～499	0	0	0	0	0
500～	0	0	0	0	0

(7)免疫グロブリン製剤5%(20mL)使用本数
なし

1-229. 免疫グロブリン製剤(静注用)について過去1年間(平成28年1月～平成28年12月)に使用した製剤の適応疾患はどれですか 複数回答

回答施設数	構成比
1 重症感染症	64 34%
2 低・無ガンマグロブリン血症	18 10%
3 特発性血小板減少性紫斑病	18 10%
4 川崎病	16 8%
5 キラファン・ハレー症候群	15 8%
6 チャーグ・ストラウス症候群	7 4%
7 多発性筋炎	11 6%
8 慢性炎症性腸病性多発神経炎	10 5%
9 重症筋無力症	9 5%
10 ステイブンス・ジョンソン症候群	2 1%
11 天候癆	10 5%
12 血漿C3値の低下を伴う急性中耳炎および呼吸器感染症	2 1%
13 その他	7 4%
	189

1-230. 過去1年間(平成28年1月～平成28年12月)で、免疫グロブリン製剤を廃棄しましたか

選択項目	件数	構成比
1 はい	10	14%
2 いいえ	62	86%
合計	72	100%
未回答	106	

- (5) 免疫グロブリン製剤5% (200mL) 廃棄本数なし
- (6) 免疫グロブリン製剤10% (50mL) 廃棄本数なし
- (7) 免疫グロブリン製剤10% (100mL) 廃棄本数なし

1-232. 免疫グロブリン製剤を廃棄した要因は、複数回答

選択項目	件数	構成比
1 有効期限切れ	4	40%
2 破損	2	20%
3 保管管理不良	1	10%
4 その他	3	30%
合計	10	100%

※ その他の場合 理由：間違えて違う製剤を溶解してしまった
調整後指示変更のため

2) インフォーーム・コンセンサスの実施について

1-233. 輸血用血液製剤(赤血球製剤、血小板製剤、血漿製剤)の投与に際して患者又はその家族への説明を行い、同意(インフォーーム・コンセンサス)を得ていますか

選択項目	回答施設数	構成比
1 常にしている	153	96%
2 ほぼ行っている	7	4%
3 あまり行っていない	0	0%
4 全く行っていない	0	0%
5 輸血用血液製剤の使用実績なし	0	0%
合計	160	100%
未回答	18	

1-234. 輸血用血液製剤投与に際して患者又は家族へ説明し、同意を得る場合の同意書(輸血同意書)がありますか

選択項目	回答施設数	構成比
1 はい	158	99%
2 いいえ	1	1%
3 作成中	0	0%
合計	159	100%
未回答	19	

1-235. 血漿分画製剤(アルブミン製剤、免疫グロブリン製剤)の投与に際して患者又はその家族への説明を行い、同意(インフォーーム・コンセンサス)を得ていますか

選択項目	回答施設数	構成比
1 常にしている	113	75%
2 ほぼ行っている	11	7%
3 あまり行っていない	4	3%
4 全く行っていない	4	3%
5 血漿分画製剤の使用実績なし	19	13%
合計	151	100%
未回答	27	

1-236. 血漿分画製剤投与に際して患者又は家族へ説明し、同意を得る場合の同意書がありますか

選択項目	回答施設数	構成比
1 血漿分画製剤単独の同意書がある	55	38%
2 輸血同意書にその内容が含まれている	58	40%
3 血漿分画製剤利用の同意書はない	14	10%
4 作成中	1	1%
5 血漿分画製剤の使用実績なし	18	12%
合計	146	100%
未回答	32	

1-237. 血漿分画製剤の投与に際し、患者又はその家族へ原料血液の採血園について情報提供していますか

選択項目	回答施設数	構成比
1 常にしている	13	10%
2 採血園が日本の場合行っている	2	2%
3 採血園が外国の場合行っている	8	6%
4 両方が院内採用されている製剤の場合行っている	2	2%
5 全く行っていない	85	65%
6 血漿分画製剤の使用実績なし	21	16%
合計	131	100%
未回答	47	

1-238. 血漿分画製剤使用時のインフォームド・コンセント取得の際の同意書に原料血液の産血国の情報を含まれていますか

選択項目	回答施設数	構成比
1 含んでいる	11	10%
2 含んでいない	101	90%
3 血漿分画製剤の使用実績なし	21	19%
合計	112	100%
未回答	45	

1-239. 血漿分画製剤の投与に際し、患者又はその家族へ原料血液の産血・非産血の別について情報提供していますか

選択項目	回答施設数	構成比
1 常に行っている	14	11%
2 献血由来の場合行っている	4	3%
3 非産血の場合行っている	5	4%
4 両方が院内採用されている製剤の場合行っている	3	2%
5 全く行っていない	81	62%
6 血漿分画製剤の使用実績なし	23	18%
合計	130	100%
未回答	48	

1-240. 血漿分画製剤使用時のインフォームド・コンセント取得の際の同意書に原料血液の産血・非産血の別についての情報を含まれていますか

選択項目	回答施設数	構成比
1 含んでいる	15	14%
2 含んでいない	95	86%
3 血漿分画製剤の使用実績なし	20	18%
合計	110	100%
未回答	48	

22 院内成分採血細胞処理・凍結保存・保管に関する実施状況調査

1-241. 過去1年間(平成28年1月～平成28年12月)で輸血部または関連する部門で下記の採血、細胞処理、凍結、保存を行っていますか

- (1) 血縁および非血縁末梢血幹細胞 (2) 自家末梢血幹細胞 (3) ドナーリンパ球 (アフェレーシス法)
- (4) 顆粒球採取 (アフェレーシス法) (5) 自己リンパ球 (アフェレーシス法)

選択項目	回答施設数	構成比
1 はい	6	4%
2 いいえ	152	96%
合計	158	100%
未回答	20	

1-242. 過去1年間(平成28年1月～平成28年12月)で輸血部または関連する部門で成分採血(アフェレーシス法)を行いましたか

選択項目	回答施設数	構成比
1 採取した	6	100%
2 採取していない	0	0%
合計	6	100%
未回答	172	

(1) 血縁および非血縁末梢血幹細胞採取症例数

症例数	回答施設数	構成比
20～	1	20%
10～19	0	0%
1～9	4	80%
0	0	0%
合計	5	100%
未回答	1	

(2) 自家末梢血幹細胞採取症例数

症例数	回答施設数	構成比
20～	1	20%
10～19	2	40%
1～9	1	20%
0	1	20%
合計	5	100%
未回答	1	

(3) ドナーリンパ球採取(アフェレーシス法)症例数

症例数	回答施設数	構成比
20～	0	0%
10～19	0	0%
1～9	3	100%
0	0	0%
合計	3	100%
未回答	3	

- (4) 顆粒球採取(アフェレーシス法)症例数
 - (5) 自己リンパ球(アフェレーシス法)症例数
- 該当なし

1-243. 過去1年間(平成28年1月～平成28年12月)で輸血前または関連する部門で細胞の凍結処理・保管管理を行いましたか

選択項目	回答施設数	構成比
1 はい	6	100%
2 いいえ	0	0%
合計	6	100%
未回答	172	

凍結処理・保管管理の症例数
症例数 回答施設数 構成比

20～	1	20%
10～19	3	60%
1～9	1	20%
0	0	0%
合計	5	100%
未回答	173	

1-244. 標準作業手順書(SOP)を作成・使用していますか

選択項目	回答施設数	構成比
1 はい	6	100%
2 いいえ	0	0%
合計	6	100%
未回答	172	

1-245. 作業工程の記録をしていますか

選択項目	回答施設数	構成比
1 はい	4	67%
2 いいえ	2	33%
合計	6	100%
未回答	172	

1-246. 特定の項目を定めたラベルを貼付して製剤を扱っていますか

選択項目	回答施設数	構成比
1 はい	5	83%
2 いいえ	1	17%
合計	6	100%
未回答	172	

1-247. 輸血製剤に準じた照合を行っていますか

選択項目	回答施設数	構成比
1 はい	4	67%
2 いいえ	2	33%
合計	6	100%
未回答	172	

1-248. 自施設でフローサイトメトリーによりCD34 陽性細胞数を測定していますか

選択項目	回答施設数	構成比
1 実施している	6	100%
2 実施していない	0	0%
合計	6	100%
未回答	172	

1-249. CD34陽性細胞数測定でサンブル調整は何を用いていますか

選択項目	回答施設数	構成比
1 シンクル・フラットフォーム法(ビーズ法)を用いたキット製品を使用	4	67%
2 シンクル・フラットフォーム法(ビーズ法)の試薬を使用し外部検査業者	0	0%
3 テュアル・フラットフォーム法	2	33%
4 その他	0	0%
合計	6	100%
未回答	172	

1-250. CD34陽性細胞数測定で測定・解析は何を用いていますか

選択項目	回答施設数	構成比
1 自動測定・解析プログラム	4	67%
2 施設でISHAGE 法に基づき独自作成した測定・解析方法	1	17%
3 施設で独自に作成した測定・解析方法(非ISHAGE 法)	1	17%
4 その他	0	0%
合計	6	100%
未回答	172	

1-251. 開放系細胞処理の場合は、細胞治療専用のクリーンベンチを用いて処理していますか

選択項目	回答施設数	構成比
1 はい	5	100%
2 いいえ	0	0%
合計	5	100%
未回答	173	

1-252. 凍曹保液および添加試薬は、どれですか 複数回答

選択項目	回答施設数	構成比
1 CP1	4	50%
2 DMSO	1	13%
3 CryoSure-DMSO	0	0%
4 CryoSure-Dex40	0	0%
5 Cryoserv	0	0%
6 AB 血清	1	13%
7 アルブミン	2	25%
8 その他	0	0%
合計	8	100%

1-253. 凍結方法はどれですか

選択項目	回答施設数	構成比
1 -80度コントロール法(簡易法)	3	60%
2 プログラムフリーザー	1	20%
3 その他	1	20%
合計	5	100%
未回答	173	

1-254. 細胞治療専用の冷凍庫またはタンクに保存していますか

選択項目	回答施設数	構成比
1 はい	5	100%
2 いいえ	0	0%
合計	5	100%
未回答	173	

1-255. 凍結保存温度はどれですか

選択項目	回答施設数	構成比
1 -80℃	1	20%
2 -135℃	0	0%
3 -150℃	0	0%
4 液体窒素タンク	4	80%
5 気相式窒素タンク	0	0%
6 その他	0	0%
合計	5	100%

1-256. 処理後に無菌検査を行っていますか

選択項目	回答施設数	構成比
1 はい	0	0%
2 いいえ	5	100%
合計	5	100%
未回答	173	

1-257. 解凍後に無菌検査を行っていますか

選択項目	回答施設数	構成比
1 はい	0	0%
2 いいえ	5	100%
合計	5	100%
未回答	173	

1-258. 保存期間を定めていますか

選択項目	回答施設数	構成比
1 はい	2	40%
2 いいえ	3	60%
合計	5	100%
未回答	171	

保存期間	回答施設数	構成比
10～	0	0%
1～5	2	100%
合計	2	100%
未回答	0	

1-259. 検体保存を行っていますか

選択項目	回答施設数	構成比
1 はい	5	100%
2 いいえ	0	0%
合計	5	100%
未回答	173	

1-260. 「末梢血幹細胞動員・採取に関するガイドライン」(改訂第3版)を遵守していますか

選択項目	回答施設数	構成比
1 はい	5	100%
2 いいえ	0	0%
合計	5	100%
未回答	173	

1-261. 成分採血における血管穿刺を行う職種は下記のどれですか 複数回答

選択項目	回答施設数	構成比
1 輸血部医師	2	25%
2 輸血部看護師	0	0%
3 診療科医師	5	63%
4 診療科看護師	0	0%
5 臨床工学技士	1	13%
6 検査技師	0	0%
7 薬剤師	0	0%
8 その他	0	0%
合計	8	100%
未回答	170	

1-262. 成分採血のオペレータの主な職種は下記のどれですか 複数回答

選択項目	回答施設数	構成比
1 輸血部医師	1	20%
2 輸血部看護師	0	0%
3 診療科医師	1	20%
4 診療科看護師	0	0%
5 臨床工学技士	2	40%
6 検査技師	0	0%
7 薬剤師	1	20%
8 その他	0	0%
合計	5	100%
未回答	173	

1-267. 成分採血時に輸血部看護師もしくは学会認定・アフレシナスナーズはどこにいますか

選択項目	回答施設数	構成比
1 採血場所	2	33%
2 連絡がつく院内	0	0%
3 不在	3	50%
4 その他	1	17%
合計	6	100%
未回答	172	

1-268. 成分採血時に診療科医師はどこにいますか

選択項目	回答施設数	構成比
1 採血場所	4	67%
2 連絡がつく院内	2	33%
3 不在	0	0%
4 その他	0	0%
合計	6	100%
未回答	172	

1-269. 成分採血時に輸血部医師はどこにいますか

選択項目	回答施設数	構成比
1 採血場所	3	50%
2 連絡がつく院内	1	17%
3 不在	1	17%
4 その他	1	17%
合計	6	100%
未回答	172	

1-270. アフレシナスの機器はどれですか 複数回答

選択項目	回答施設数	構成比
1 COBE Spectra	2	33%
2 Spectra Optia	3	50%
3 CS3000	0	0%
4 COM.TEC(Fresenius)	1	17%
5 Hemonetics CCS	0	0%
6 その他	0	0%
合計	6	100%
未回答	172	

1-271. 過去1年間(平成28年1月～平成28年12月)輸血採取時に合併症および副作用が発生しましたか

選択項目	回答施設数	構成比
1 発生した	2	33%
2 発生していない	4	67%
合計	6	100%
未回答	172	

副作用症例数		
選択項目	件数	構成比
10～	0	0%
1～10	2	100%
0	0	0%
合計	2	100%

1-263. 細胞の処理・凍結処理を行う主な職種は下記のどれですか 複数回答

選択項目	回答施設数	構成比
1 輸血部医師	1	13%
2 輸血部看護師	0	0%
3 診療科医師	2	25%
4 診療科看護師	0	0%
5 臨床工学技士	1	13%
6 検査技師	3	38%
7 薬剤師	1	13%
8 その他	0	0%
合計	8	100%
未回答	170	

1-264. 細胞の保管管理を行う主な職種は下記のどれですか 複数回答

選択項目	回答施設数	構成比
1 輸血部医師	0	0%
2 輸血部看護師	3	43%
3 診療科医師	0	0%
4 診療科看護師	0	0%
5 臨床工学技士	0	0%
6 検査技師	3	43%
7 薬剤師	1	14%
8 その他	0	0%
合計	7	100%
未回答	171	

1-265. 細胞の払い出しを行う職種は下記のどれですか 複数回答

選択項目	回答施設数	構成比
1 輸血部医師	0	0%
2 輸血部看護師	0	0%
3 診療科医師	3	38%
4 診療科看護師	0	0%
5 臨床工学技士	0	0%
6 検査技師	4	50%
7 薬剤師	1	13%
8 その他	0	0%
合計	8	100%
未回答	170	

1-266. 成分採血を行う場所は下記のどれですか 複数回答

選択項目	回答施設数	構成比
1 輸血部内	1	14%
2 外来	1	14%
3 病棟	4	57%
4 その他	1	14%
合計	7	100%
未回答	171	

1-272. 過去1年間(平成28年1月～平成28年12月)細胞採取時に血管迷走神経反射(VVR)を経験しましたか

選択項目	回答施設数	構成比
1 した	5	17%
2 していない	1	83%
合計	6	100%
未回答	172	

血管迷走神経反射(VVR)症例数

選択項目	件数	構成比
10～10	0	0%
1～10	1	100%
合計	1	100%

1-273. 過去1年間(平成28年1月～平成28年12月)細胞採取時にクエン酸中毒を経験しましたか

選択項目	回答施設数	構成比
1 した	1	17%
2 していない	5	83%
合計	6	100%
未回答	172	

クエン酸中毒症例数

選択項目	件数	構成比
10～	0	0%
1～10	1	100%
合計	1	100%

1-274. 過去1年間(平成28年1月～平成28年12月)細胞採取時に穿刺部血腫を経験しましたか

選択項目	回答施設数	構成比
1 した	0	0%
2 していない	6	100%
合計	6	100%
未回答	172	

穿刺部血腫症例数 該当なし

1-275. 過去1年間(平成28年1月～平成28年12月)細胞採取時に神経損傷を経験しましたか

選択項目	回答施設数	構成比
1 した	0	0%
2 していない	6	100%
合計	6	100%
未回答	172	

神経損傷症例数 該当なし

1-276. 防内臓製細胞製剤の取り違い防止策をどのように講じていますか。

選択項目	回答施設数	構成比
1 輸血管理システムを使っている	4	80%
2 複数の担当者でダブルチェックしている	1	20%
3 担当者1人でチェックしている	0	0%
4 特に気にしていない	0	0%
合計	5	100%
未回答	173	

23) 細胞治療(再生医療等製品)に関する実施状況調査

1-277. 過去1年間(平成28年1月～平成28年12月)で下記の細胞治療(再生医療等製品)を使用しましたか

選択項目	回答施設数	構成比
1 はい	1	1%
2 いいえ	151	99%
合計	152	100%
未回答	26	

1-278. 問1-277で「1. はい」の場合、過去1年間(平成28年1月～平成28年12月)で使用した細胞治療(再生医療等製品)は 種数回答

選択項目	件数	構成比
1 ヒト(固種)骨髄由来間葉系幹細胞「テムセル(S注)」	1	100.0%
2 ヒト(自己)骨格筋由来細胞シート「ハートシート」	0	0.0%
3 ヒト(自己)表皮由来細胞シート「シエイス」	0	0.0%
4 ヒト(自己)軟骨由来細胞「シヤック」	0	0.0%
合計	1	100%
未回答	0	

24) 診療所での輸血の受領について(診療所のみ回答)

1-279. 「血液法」及び「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律(薬機法)」(旧薬事法)の基本理念並びに「輸血療法の実施に関する指針」及び「血液製剤の使用指針」をご存知ですか。(診療所のみ回答してください)

選択項目	件数	構成比
1 知っている	12	67%
2 知らない	6	33%
合計	18	100%
未回答	2	

1-280. 「血液法」及び「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律(薬機法)」(旧薬事法)の基本理念並びに「輸血療法の実施に関する指針」及び「血液製剤の使用指針」について、院内に周知していますか。(診療所のみ回答してください)

選択項目	件数	構成比
1 内容を含め十分周知している	2	10.5%
2 内容まで十分知らせていない	13	68.4%
3 全くしていいない	4	21.1%
4 その他	0	0.0%
合計	19	100%
未回答	1	

1-281. 血液製剤の使用に当たり、「血液製剤の使用指針」に記載されている国の使用基準を遵守していますか。(診療所のみ回答してください)

選択項目	件数	構成比
1 ほとんどできている	9	52.9%
2 必要性は周知しているができていない	7	41.2%
3 その他	1	5.9%
合計	17	100%
未回答	3	

1-282. 血液型検査・赤血適合試験・不規則抗体スクリーニング検査の実施状況を回答してください。(診療所のみ回答してください)

選択項目	件数	構成比
1 院内のスタッフ(医師、看護師、検査技師など)が実施	2	10.5%
2 院外の検査機関に委託	14	73.7%
3 その他	3	15.8%
合計	19	100%
未回答	1	

1-283. 貴院で赤血球輸血を行っている患者の主な病態は 複数回答 (診療所のみ回答してください)

選択項目	件数	構成比
1 血液疾患に伴う慢性貧血	4	15.4%
2 腎疾患(透析、腎性貧血)	8	30.8%
3 急性出血(吐血、下血、痔血、血尿など)	6	23.1%
4 外科的出血(産科、手術、外傷など)	7	26.9%
5 その他	1	3.8%
合計	26	100%
未回答	0	